



## 第4章

# 広報・おもてなし編

# ロゴマーク・マスコット・ポスター・イメージソング

## ロゴマーク



382点の応募の中から選ばれたこのロゴマークは、人と人が繋がり手を取り合って文化が生まれていくというイメージを、水引をモチーフにデザインしています。太古から受け継がれてきた日本文化の素晴らしさを再認識し、新たな文化や価値観が生まれていくことを表現しています。

## シンボルマーク



国民文化祭統一のシンボルマークとして、第1回（昭和61年、東京都開催）から福田繁雄氏（故人）のデザインが採択されています。

文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との結合であります。限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形（かた）の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古代紫を基調に、明るさを加えて、新しい未来色のイメージにした色彩計画です。

## マスコットキャラクター

県のシンボルキャラクターとして親しまれている「みやざき犬」を本大会用にアレンジし、県内外でPR活動を展開しました。



音楽祭ひいくん



神話むっちゃん



牧水かあくん



マンゴーむっちゃん



冷や汁かあくん

## 公式ポスター



神楽の舞台でめぐらせる「彫り物」を中心にして、神楽をはじめとするさまざまな文化が山から海へと流れる大河のように悠久の時間をかけて伝承されてきた宮崎をデザイン。神楽面や鳥居のイラストとともに 国文祭・芸文祭で開催されるイベントもイラストで表現しています。

## イメージソング

本県出身のこんやしょうたろうさんがボーカルを担当する音楽ユニット「アルケミスト」のお二人が、子どもから大人まで親しみやすいメロディーで、宮崎らしい温かで爽やかな曲を制作しました。

「ひなたの真ん中で」

作詞：こんや しょうたろう  
作曲：アルケミスト

ひなたの真ん中で歌おう 毎日が冒険の旅  
なんでもない石ころも 宝物に変わる 君と一緒にならば  
きれいな貝殻だけで できた島があるらしい  
晴れたら 大きな鬼が 洗濯するんだって  
仲良しこよし この指とまれ 本当か嘘か 確かめよう  
ヤシの木の道 どこまで続く？ 何が僕らを待っているんだろうか  
ひなたの真ん中で歌おう 毎日が冒険の旅  
なんでもない石ころも 宝物に変わる 君と一緒にならば  
眠くなったら草の上 野生の馬とお昼寝  
お腹空いたら魚釣り 今日はずっとご馳走  
仲良しこよし この指とまれ 本当か嘘か 確かめよう  
右か左か 迷った時は 祠の中の神様にたずねよう  
ひなたの真ん中で歌おう 毎日が冒険の旅  
なんでもない石ころも 宝物に変わる 君と一緒にならば  
未来の友達に このふるさとを 見せたいな  
大人になっても遊びましょう ケンカしても仲直り  
甘いマンゴーも半分こ 仲良く食べましょう  
ひなたの真ん中で歌おう 毎日が冒険の旅  
なんでもない石ころも 宝物に変わる 君と一緒にならば  
ららら…… ひなたの真ん中で ひなたの真ん中で



## 広報アンバサダー

アルケミスト(こんやしょうたろうさん、井尻慶太さん)



“こころ”のふれあうフェスタ 2020 (R3.8.7)



大会 PR 活動 (JR 宮崎駅西口完成式典) (R2.10.16)

野田あすかさん



アートフェスティバル (R3.10.2)

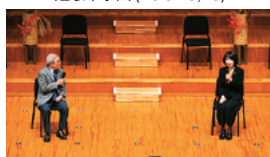


第40回わたぼうし宮崎コンサート 2020 (R3.8.22)

俵万智さん



全国高校生みやざき短歌甲子園 (R3.9.25,26)



短歌オペラ「若山牧水 海の声 山の声」 (R3.10.16)

山内達哉さん



オトタビ 吉都線で行くおとなの遠足ツアー (R3.7.16)



大会 PR 活動 (みやざき国際ストリート音楽祭 2021) (R3.4.29)



## PR活動

## イベント

国文祭・芸文祭の開催を広く県民に周知するため、県実行委員会主催によるイベントを実施しました。

## ■ 2年前イベント

(平成30年10月13日、14日、21日、27日、  
11月3日、4日)

## ■ けんげき 25 フェス

(平成30年11月17日～18日)

## ■ “こころ”のふれあうフェスタ 2018

(平成30年11月28日～12月2日)

## ■ 牧水が愛したふるさと

(平成30年12月9日)

## ■ 榎倉香邨の書－ふるさと－展

(平成31年1月11日～20日)

## ■ 藤城清治 愛生きるメルヘン展

(平成31年4月13日～令和元年5月26日)

## ■ 藤城清治ステンドグラス完成記念関連事業

(令和元年5月18日、19日、25日、26日)

## ■ 500日前イベント (令和元年6月15日～16日)

## ■ 一年前イベント

## ● いざや、みやざき宵まつり

(令和元年10月13日)

## ● “こころ”のふれあうフェスタ 2019

ステージイベント (令和元年10月14日)

作品展 (令和元年11月27日～12月1日)

## ● 神話のふるさと講演会

～演出家 宮本亞門氏「ニッポンを演出する」～

(令和元年10月19日)

## ■ まちなか文化堂

(令和元年11月23日、12月14日、21日)

## ■ 国文学者 中西進氏講演会「神話の国と現代」

(令和2年1月11日)

## ■ 開幕直前イベント

● シンポジウム「2021年。いまこそ『みやざき  
県ゆかいアート村』」三県演劇「ゆかいな劇  
場の作り方」(令和3年4月3日～4日)

## ● 大人のための短歌超入門

(令和3年5月8日、6月5日、26日)

● 出張型イベント「“こころ”のふれあうワー  
クショップ」(令和3年6月11日、12日、20日)

## ■ 開幕記念イベント (令和3年6月24日)

このほか、市町村や文化団体等が実施する事業を  
イベントとして承認し、相互連携による気運醸  
成を図りました。



2年前イベント (県庁楠並木)



2年前イベント (イオンモール宮崎)



藤城清治 愛生きるメルヘン展



藤城清治ステンドグラス完成記念関連事業



500日前イベント



いざや、みやざき宵まつり



国文学者 中西進氏講演会

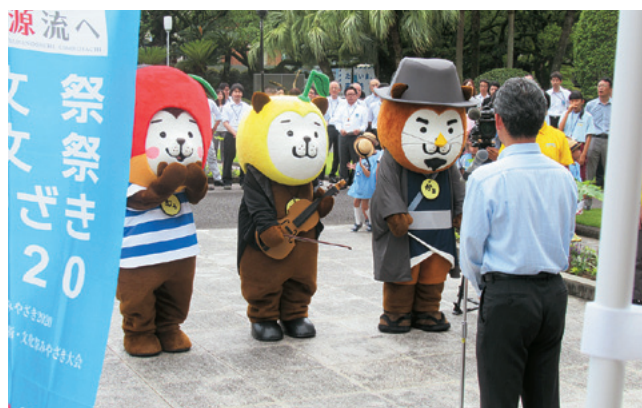


神話のふるさと講演会



市町村巡回広報

国文祭・芸文祭の開催に向けた気運醸成や広報を目的に「国文祭・芸文祭キャラわん隊」を結成し、市町村でのイベントでPRを行いました。



出発式（宮崎県庁）



宮崎市



延岡市



五ヶ瀬町



綾町



諸塚村



椎葉村



串間市



## 大会旗巡回展示

新潟県から引き継いだ大会旗は、大会のPRのため県内26市町村で巡回展示し、次回開催の和歌山県へと引き継ぎました。



新潟県から  
令和元年11月30日



木城町  
令和2年11月9日～16日



三股町  
11月17日～30日



宮崎市  
12月1日～12月11日



都城市  
12月14日～18日



小林市  
12月21日～25日



えびの市  
12月28日～令和3年1月8日



綾町  
1月12日～15日



国富町  
1月18日～22日



西都市  
1月25日～2月5日



高鍋町  
2月8日～12日



都農町  
2月15日～19日



日向市  
2月22日～26日



美郷町  
3月1日～5日



西米良村  
3月8日～12日



椎葉村  
3月15日～19日



五ヶ瀬町  
3月22日～26日



高千穂町  
3月29日～4月2日



門川町  
4月5日～9日



日の影町  
4月12日～16日



諸塚村  
4月19日～23日



川南町  
4月26日～5月7日



新富町  
5月10日～14日



日南市  
5月17日～21日



串間市  
5月24日～28日



高原町  
5月31日～6月4日



延岡市  
6月7日～11日



和歌山県へ  
10月17日



## ガイドブック・グッズ

### ガイドブック・パンフレット

国文祭・芸文祭の開催及び内容を広く周知するため、公式ガイドブック等を作成し、文化施設や観光施設、交通機関などで配布しました。



### 広報グッズ

ロゴマークや公式ポスターのデザインが入った広報グッズを製作し、PRイベントなどで広く配布しました。



## 屋外広告による広報

本県開催を広く周知するとともに、開催機運を醸成するため、屋外広告による広報を展開しました。



宮崎県庁



宮崎県庁前楠並木通り



宮崎ブーゲンビリア空港



宮崎県立芸術劇場



宮崎市街地アーケード



ラッピングバス



宮崎山形屋



## PR 動画・CM

国文祭・芸文祭の開催を映像等を通して広く周知するため、PR 動画とテレビCMを制作し、テレビのほか、デジタルサイネージ、公式ホームページ、公式 SNS 等で配信しました。



大会 PR 動画 (令和2年度)



大会 CM (令和2年度)



大会 CM (令和元年度)

## ホームページ・SNS

国文祭・芸文祭の開催を県内外に広く周知し、理解や関心を高めるため、公式ホームページや SNS を活用し、若者をはじめとする幅広い年齢層に対し、文化祭の準備情報や各プログラムの情報を発信しました。

### 公式ホームページ

- 〈開設日〉平成 30 年 10 月 5 日
- 〈内 容〉大会の概要
- お知らせ
- 募集情報
- イベント情報
- トラベルセンター
- ロゴマークのダウンロード 等



### SNS

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを開設し、イベント情報の告知を行いました。また、制作した PR 動画やプログラム映像をユーチューブで配信しました。



Facebook



Instagram



Twitter



You Tube



## おもてなし

### ボランティア

#### ● イベントサポーター

県主催事業（総合フェスティバル、フォーカスプログラム、パートナーシッププログラム、共に生きて共に感じる芸術文化プログラム）及び総合案内所において、運営の補助や障がい者の介助等を行うイベントサポーターに1,215名（個人105名、15団体1,110名）の応募があり、延べ244名の方に活動していただきました。



#### ● 広報サポーター

SNSでのイベント情報の発信やオリジナル缶バッジなどのPRグッズを使った広報に、3,060名（個人175名、44団体2,885名）の方に協力していただきました。



### おもてなし研修

主催者（県・市町村実行委員会事務局職員や文化団体関係者等）及びイベントサポーターを対象に、おもてなし接遇や車いすの取り扱いなどについて学ぶ「おもてなし研修」を開催し、130名が研修を受講しました。





### 総合案内所

大会期間中、空と陸の玄関口である宮崎ブーゲンビリア空港とJR宮崎駅に「大会総合案内所」を開設し、各事業の内容紹介や会場までの交通手段、観光情報等の案内を行いました。



宮崎ブーゲンビリア空港



JR 宮崎駅

### おもてなしカード

県内の小学校及び特別支援学校の児童生徒が心を込めて作成したメッセージ付きのおもてなしカードをイベント等において配布しました。



## トラベルセンター

全国からの参加者等を万全の体制で受け入れ、気持ちよく国文祭・芸文祭に参加できるように宿泊施設や交通機関等の手配や本県の観光情報等の提供を行うため、トラベルセンターを設置しました。

トラベルセンターでは、宿泊施設や交通機関等の調整、手配のほか、体験メニュー等を活用した観光モデルプランの作成、期間限定のオリジナルツアーの企画、販売を行いました。



## 協賛、協力企業・団体

協力事業の実施や協賛金の提供など大会に御協力いただきました。

(順不同)

イオンモール宮崎	宮崎観光ホテル
ニューコ・ワン株式会社	フェニックス・シーガイア・リゾート
南日本酪農協同株式会社	一般社団法人宮崎県教職員互助会
株式会社響	株式会社デンサン
地方創聖プロジェクト	宮崎本大賞実行委員会
吉原建設株式会社	九州電力株式会社
宮崎県農協果汁株式会社	Biocafe
宮崎空港ビル株式会社	有限会社桐木神楽堂
宮崎交通株式会社	日本食材加工株式会社
九州旅客鉄道株式会社	大和証券株式会社
宮崎大学	旭化成株式会社
株式会社宮崎太陽銀行	宮崎空港商事株式会社
株式会社宮崎山形屋	株式会社宮崎銀行
日本たばこ産業株式会社	宮崎県信用金庫協会
株式会社南九州ファミリーマート	株式会社セブン・イレブン・ジャパン
マルマン株式会社	株式会社ローソン
道本食品株式会社	株式会社ドコモ CS 九州宮崎支店